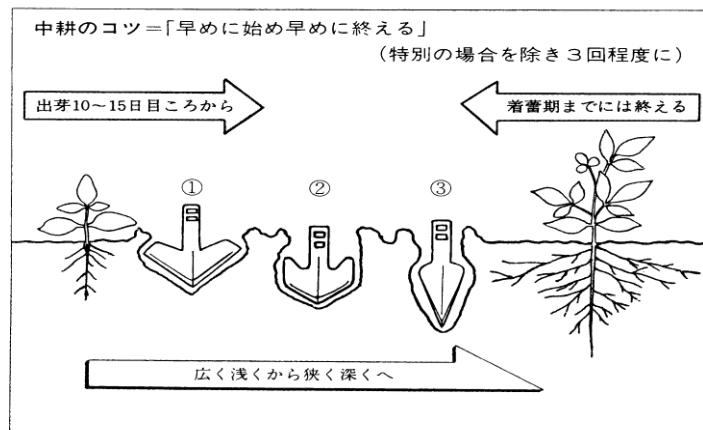


畑作技術情報

発行 令和7年6月9日
第 5 号
たいせつ農業協同組合
営農部 農産販売課
本所 営農センター 57-2357
支所 営農センター 87-4111

◆中耕除草の実施を！◆

中耕除草の効果として、除草効果以外にも通気性と地温を向上させることで、発根を促進させる効果も期待できますので必ず行いましょう。

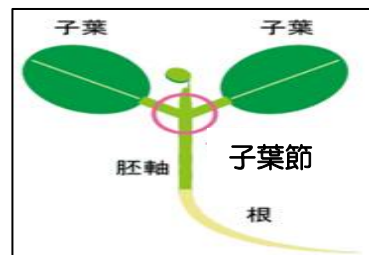


大豆の生育状況（6/1 現在）

	は種期	出芽期	開花始	開花期
平年値	5/27	6/4	7/12	7/14
本年	6/2	—	—	—

◆中耕除草の1回目◆

除草剤の効果을考慮しながら、出芽後10～15日頃までに、**子葉節が隠れる程度**で行いましょう。子葉を傷めると、その後の生育に影響するので注意しましょう。



◆中耕除草の2回目◆

雑草の発生状況と発根状況等を考慮しながら、徐々に狭く深くします。

●乾燥している場合…深いと水分不足を助長するため、**浅めに中耕**をしましょう。

●湿度が多い場合…**やや深めに中耕**をしましょう。

過湿により根傷みや根腐れを起こした場合は、土寄せを行い、土壌の乾燥と地際部からの新根の発生を促します。

◆着蕾期前までには中耕を終了する◆

着蕾期（平年、7月10日頃）から大幅にすれ込むと断根による落花・落莢・若返り（生育の遅延）などに繋がるため、着蕾期までに必ず終わらせましょう。

農作業事故について

◆農作業中の事故に注意を払いましょう◆

大型機械を使った作業が一段落したところですが、道内ではとても痛ましい事故が起きているところもあります。早朝や夜遅くの作業は注意力が散漫になり、視界も悪くなるため普段は平気な場所での作業も、事故のリスクが高まります。やむを得ず作業を実施する場合は細心の注意を払い、万が一事故が起きた場合に備えて携帯電話等は必ず所持しましょう。